



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 予備自衛官招集訓練を支援



拳銃射撃訓練の様子



隊力検定の様子



訓練が終了し、予備自衛官旗を返還



永年勤続表彰式



左から隊友会長、  
永年勤続5年地本長表彰者2名と  
栃木地方協力本部長



左から隊友会長、  
永年勤続30年防衛大臣表彰者1名と  
栃木地方協力本部長



本部長と記念撮影する  
女性予備自衛官

予備自衛官として活躍していきたいです」と力強く語っていた。

予備自衛官は、「5年表彰を受賞できて素直に嬉しいです。今後も国のために働く」と現在の心境も交えて意気込みを語っていた。また、栃木地本長表彰を受けた採用当時の訓練が今でも懐かしく感じています。できれば上限任用期間以降も予備自衛官として働きたいが、引き続き任期満了まで予備自衛官を継続していきたいです。

予備自衛官2名に対し栃木地本長表彰を実施した。

防衛大臣表彰の伝達を受けた予備自衛官からは、「あつという間の30年でした。訓練期間中、永年勤続者表彰として、勤続30年の予備自衛官1名へ防衛大臣表彰の伝達、勤続5年の予備自衛官2名に対し栃木地本長表彰を実施した。出頭した予備3陸佐は、「迷彩服を着用し予備自衛官の使命及び任務を改めて認識し襟を正して日々を過ごそうと思った」と訓練出頭への気持ちを語っていた。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は、11月5日（水）～11月9日（日）の間、宇都宮駐屯地で東部方面特科連隊第2大隊が担任する、今年度3回目となる予備自衛官招集訓練（5日間）を支援した。

本予備自衛官招集訓練では、社会人との二足の草鞋を履く103名の予備自衛官が出頭し、射撃訓練、体力検定、格闘訓練の他、様々な訓練を実施した。出頭した予備3陸佐は、「迷彩服を着用し予備自衛官の使命及び任務を改めて認識し襟を正して日々を過ごそうと思った」と訓練出頭への気持ちを語っていた。

訓練期間中、永年勤続者表彰として、勤続30年の予備自衛官1名へ防衛大臣表